

2015年3月31日

グローバル農薬事業の体制強化について ～化学農薬と生物農薬の一体運営によるシナジーの追求～

住友化学は、4月1日から、化学農薬と生物農薬の事業運営を一体化することで、グローバル農薬事業の体制強化を図ることといたしました。

これまで当社グループのグローバル農薬事業は、化学農薬については住友化学が、生物農薬については米国のベーラント・バイオサイエンス社（以下、VBC社）が、それぞれ統括してきました。今後は生物農薬についても、マーケティング、プロダクトマネジメント、新規製品開発、事業開発、事業企画の機能を住友化学が直接統括し、化学農薬と生物農薬の事業を一体的に運営します。さらに、今後1年以内を目途に、研究および農薬登録の機能についてもVBC社から住友化学に統合し、住友化学が世界各地の関係会社と直接連携しながら、市場のニーズにより迅速・的確に対応していきます。

なお、生物農薬に関する事業目標や、研究、製造、サプライチェーンなどは、新たに設置する生物農薬ビジネスユニットが責任を担う体制とします。このユニットは、現在VBC社が行っている、公衆衛生や森林分野などの農業分野以外のビジネスや、ポストハーベスト事業および菌根菌事業などの運営も担当します。

住友化学は、化学農薬と生物農薬のバランスの取れた製品群を最大限に活用し、種子処理からポストハーベストまでの幅広い分野で事業を拡大し、世界的に需要の高まる安全・安心な食糧の安定供給に貢献してまいります。

＜ベーラント・バイオサイエンス社の概要＞

会 社 名	Valent BioSciences Corporation
所 在 地	米国イリノイ州リバティール
設立年月	2000年1月
社 長	Andrew Lee（アンドリュー リー）
事業内容	全世界における生物農薬の研究・開発・製造・販売
株 主	ベーラントU.S.A.社100% (ベーラント U.S.A.社は、住友化学の 100%子会社)

以上